

2003年

【論文等】

川嶋 將生

川嶋將生「丹後猿樂の盛衰」『新修亀岡市史』本文編第2巻，2003年3月

川嶋將生「山科七郷の自治活動」(『本願寺と山科二千年』所収。法蔵館，pp.63～75，2003年4月)

杉橋 隆夫

杉橋隆夫・本郷真紹・山崎有恒「岩倉使節団と国民国家形成」(『立命館文学』578号，pp.79～101，2003年2月)

杉橋隆夫「嵯峨」「鳥羽」「橋本」「山崎」(『日本交通史辞典』吉川弘文館，2003年6月)

杉橋隆夫(共編著)『藤井寺市史 補遺編』<補遺・年表・索引・正誤表>(藤井寺市，pp.1～384，索引等pp.1～144，2003年9月)

杉橋隆夫「四条天皇」(米田雄介編『歴代天皇年号辞典』吉川弘文館，pp.216～217，2003年12月)

前田亮・佐古愛己・杉橋隆夫「京都学デジタル図書館の構築と多言語情報アクセス」(『人文科学とコンピュータシンポジウム論文集』<情報処理学会シンポジウムシリーズ

Vol.2003, No.21>pp.195～212，2003年12月)

元木泰雄「書評：高橋昌明著『武士の成立，武士像の創出』」(『日本史研究』492号，pp.64～72，2003年)

山本崇「西大寺周辺の歴史景観 京北班田図から」(奈良文化財研究所編『奈良の寺 世界遺産を歩く』岩波新書，pp.193～196，2003年)

山本崇「奈良・興福寺一乗院跡」(『木簡研究』25号，pp.17～18，2003年)

山本崇(責任編集)奈良文化財研究所平城宮跡発掘調査部史料調査室『大極殿関係史料(稿Ⅹ一)儀式書編』(pp.1～230，2003年2月)

山本崇「大極殿院における儀式について 仏事を中心に」(独立行政法人文化財研究所 奈良文化財研究所『特別史跡平城宮跡第一次大極殿地区復原整備に関する調査検討業務 調査検討報告書(資料)』pp.257～306，2003年)

山本崇「御齋会の儀式次第とその舗設」(独立行政法人文化財研究所 奈良文化財研究所『特別史跡平城宮跡第一次大極殿地区復原整備に関する調査検討業務 調査検討報告書(資料)』(pp.308～358，2003年)

山本崇(共編)「古代山林寺院関係史料データベース(稿)」・「古代山林寺院関係文献目録(稿)」(『奈良時代・平安時代初期に於ける山林寺院の実態とその史的意義』2000・2001年度立命館大学学術研究助成報告書 研究代表者・立命館大学文学部教授本郷真紹，pp.1～117，2003年)

山本崇「第一次大極殿院南面築地回廊(平城第360次)」(奈良文化財研究所『奈文研ニュース』NO.10，p.3，2003年)

井上幸治(共著)『京都学史料』(京都造形芸術大学発行，pp.94～113，176～191，275～322，2003年4月)

井上幸治「円覚上人道御の『持齋念仏人数目録』」(『古文書研究』58号，pp.83～100，2003年3月)

佐伯智宏「徳大寺家の家領集積」(『史林』第86号第1号，pp.101～121，2003年1月)

佐伯智広「賀茂別宮と徳大寺家 家と怪異」(東アジア恠異学会編『恠異学の技法』，臨川書店，pp.159～178，2003年11月)

桂島 宣弘

桂島宣弘「洋学思想史の一考察」『日本思想史研究会会報』20号，日本思想史研究会，pp.141-151，2003年1月

和田 晴吾

和田晴吾「石棺の出現とその意義」(『立命館文学』第578号, pp.137-155 2003年2月)
和田晴吾「古墳時代の生業と社会 - 古墳の秩序と生産・流通システム」(『考古学研究』第50巻3号, pp.43-55 2003年12月)
和田晴吾編著『古代日韓交流の考古学的研究 - 葬制の比較研究』(平成11年度～平成13年度科学研究費補助金・基盤研究(B)(1)研究成果報告書)2003年3月
和田晴吾共編著『五塚原古墳第1・2次発掘調査概報』(『立命館大学文学部学芸員課程研究報告』第10冊)2003年3月

木立 雅朗

木立雅朗「『刷毛目』調整と工具の基礎的研究1 - 「刷毛目」研究の課題と役割 - 」『立命館大学考古学論集』, 立命館大学考古学論集刊行会, pp.1079~1104, 2003年5月
木立雅朗「近世窯業の実験考古学 - 鳴滝乾山窯跡出土資料を中心にした中間報告 - 」(立命館大学考古学談話会, 2003年7月12日)
木立雅朗「鳴滝乾山窯跡の夏期発掘調査」(『学芸員 NEWS LETTER』第15号, 立命館大学文学部, pp.1~3, 2003年3月)
木立雅朗「鳴滝乾山窯跡の発掘調査と焼成実験 - 京焼の歴史を探る」(『京都アート・エンタテインメント創成研究 News Letter』1, 立命館大学アート・リサーチセンター, pp.5~6, 2003年3月)
木立雅朗「鳴滝乾山窯跡に係る実験考古学事始め」(『法蔵寺鳴滝乾山窯跡発掘調査団会報』第4号, 法蔵寺鳴滝乾山窯跡発掘調査団, pp.5~7, 2003年9月)
木立 雅朗 篠窯跡群分布踏査研究会「篠窯跡群分布調査報告(三)」(『立命館文学』第578号, 立命館大学人文学会, pp.156~189, 2003年2月)

本郷 真紹

本郷真紹研究代表『奈良時代・平安時代初期に於ける山林寺院の実態とその史的意義』(立命館大学, 京都, 2003年)
本郷真紹「2002年の歴史学界 - 回顧と展望 - 古代・六」(『史学雑誌』112編-5, 東京大学史学会, 東京, pp.54~58, 2003年,)
杉橋隆夫・山崎有恒・本郷真紹「岩倉使節団と国民国家形成」(『立命館文学』578号, pp.79-101, 2003年2月)

稲葉 光行

権藤千恵・大野晋・稲葉光行「都市記憶の共有プラットフォームとしてのナレッジブル・アーカイヴ~ハワイ州における日系人文化の保存と継承の取り組みについて~」アート・リサーチ, No. 3, pp. 221-231, 2003年3月
権藤千恵・大野晋・稲葉光行「ナレッジブル・アーカイブによる『都市の記憶』の保存と継承に関する研究」, 情報処理学会研究報告 2003-CH-59(5), 情報処理学会, pp. 31-38, 2003年7月.
小島一成・稲葉光行・金子貴昭・赤間亮・八村広三郎・瀬尾訓生・長村玄「SMIL技術を用いた伝統芸能コンテンツの制作」, 情報処理学会研究報告 2003-CH-60(8), 情報処理学会, pp. 57-64, 2003年10月.
権藤千恵, 大野晋, 稲葉光行「都市記憶の共有プラットフォームとしてのナレッジブル・アーカイヴ~ハワイ州における日系人文化の保存と継承の取り組みについて~」(立命館大学アート・リサーチセンター「アート・リサーチ」Vol.3, pp. 221-231, 2003年3月)

八村 広三郎

吉村 ミツ, 村里 英樹, 甲斐 民子, 黒宮 明, 横山 清子, 八村 広三郎「赤外線追跡装置による日本舞踊動作の解析」(『電子情報通信学会論文誌』D-II)【採録決定】
高橋 京子, 遠藤 保子, 小島 一成, 八村 広三郎「動作分析にみる鹿児島県疱瘡踊りの表現特性」(『人文科学とコンピュータシンポジウム論文集』, 情報処理学会, pp.71-78, 2003年)
高橋 信晴, 八村 広三郎, 吉村 ミツ「モーションキャプチャを利用した舞踊身体動作の類似検

素とその評価」(『人文科学とコンピュータシンポジウム論文集』, 情報処理学会, pp.31-38, 2003年)

加藤 広務, 八村 広三郎, 田村 秀行「モーションキャプチャと複合現実感技術を用いた舞踊の教育支援システムの試み」(『人文科学とコンピュータシンポジウム論文集』, 情報処理学会, pp.79-86, 2003年)

丸茂 祐佳, 吉村 ミツ, 小島 一成, 八村 広三郎「日本舞踊の基礎動作「オクリ」に現れる娘形技法の特徴」(『人文科学とコンピュータシンポジウム論文集』, 情報処理学会, pp.39-46, 2003年)

阪田 真己子, 八村 広三郎, 丸茂 祐佳「日本舞踊における身体動作からの感性情報の抽出 ビデオ映像を用いた評価実験」(研究報告『人文科学とコンピュータ』, 情報処理学会 2003-CH-60, pp.65-72, 2003年)

小島 一成, 稲葉 光行, 金子 貴昭, 赤間 亮, 八村 広三郎, 瀬尾 訓生, 長村 玄「SMIL 技術を用いた伝統芸能コンテンツの制作」(研究会資料『人文科学とコンピュータ』, 情報処理学会, 2003-CH-60, pp.57-64, 2003年)

野上 雅彦, 大谷 哲也, 八村 広三郎「陶器デザインのためのCGシミュレーションシステムと商品開発への応用」(研究報告『人文科学とコンピュータ』, 情報処理学会 2003-CH-58 pp.81-88, 2003年)

町野 太一, 八村 広三郎「ビデオ映像による人物間対話解析のための顔領域抽出と顔方向の推定」(研究報告『人文科学とコンピュータ』, 情報処理学会, 2003-CH-58, pp.57-64, 2003年)

長澤 嗣治, 八村 広三郎, 小島 一成「モーションキャプチャデータのライブラリ化に基づく舞踊のアニメーションと舞踊譜生成」(研究報告『人文科学とコンピュータ』57-7, 情報処理学会, pp.41-48, 2003年)

濱田 雅史, 八村 広三郎「音楽情報から抽出される感性情報によるCGの舞踊表現の制御」(研究報告『人文科学とコンピュータ』57-7, 情報処理学会, pp.49-56, 2003年)

八村 広三郎, 小島 一成, 赤間 亮「無形文化財のデジタルアーカイブとエンタテインメントへの応用」(『エンタテインメントコンピューティング2003』シンポジウム論文集』, 情報処理学会, pp.88-93, 2003年)

徐 剛

徐 剛「3 DEigenfaces を用いた顔モデルフィッティング」, Entertainment Computing 2003, pp.125-130, Jan. 2003

徐 剛「単眼 CCD カメラを用いた実時間 3 次元入力デバイス」, Entertainment Computing 2003, pp.131-135, Jan. 2003 「3D Structure from a Single Calibrated View Using Distance Constraints」, 情報処理学会 CVIM 研究会, 2003 年 9 月

斎正範, 徐剛「3 DEigenfaces を用いた顔モデルフィッティング」, Entertainment Computing 2003, pp.125-130, Jan. 2003

岩佐琢磨, 森本茂樹, 徐剛「単眼 CCD カメラを用いた実時間 3 次元入力デバイス」, Entertainment Computing 2003, pp.131-135, Jan. 2003

山下 洋一

A. Inoue and Y. Yamashita "Extraction of important sentences for speech summarization based on an F0 model" (『The Journal of the Acoustical Society of Japan (E)』24,1, pp.35-37, 2003 年)

井上 章, 三上 貴由, 山下 洋一「複数の韻律パラメータを用いた音声要約のための文重要度予測」(『日本音響学会 2003 年春季研究発表会講演論文集』2-4-6, pp.69-70, 2003 年)

福井 勝宏, 山下 洋一「隣接分析窓間におけるスペクトルピーク差情報を用いた連続和音の高時間分解能音高認識」(『日本音響学会 2003 年春季研究発表会講演論文集』3-7-1, pp.833-834, 2003 年)

K.Cho and Y.Yamashita "Speech Recognition Using Inter-Phoneme Dependency" (Proc. of the Eighth Western Pacific Acoustic Conference (WESPAC8), MB32 (2003).)

A.Inoue and Y.Yamashita "Speech Summarization of Lecture Speech Using F0 Parameters" (Proc. of the Eighth Western Pacific Acoustic Conference (WESPAC8), TB45 (2003).)

A.Inoue, T.Mikami and Y.Yamashita "Prediction of Sentence Importance for Speech Summarization Using Prosodic Parameters" (Proc. of 8th European Conference on Speech Communication and Technology (Eurospeech 2003), 1, pp.1193-1196 (2003).)

井上 章, 三上 貴由, 山下 洋一 「韻律情報と連続音声認識による言語情報を利用した講演音声の自動要約」(『日本音響学会 2003 年秋季研究発表会講演論文集』 2-6-15, pp.89-90, 2003 年)

三上 貴由, 井上 章, 山下 洋一 「講演音声要約における韻律的特徴に基づいた文重要度の回帰木による予測」(『日本音響学会 2003 年秋季研究発表会講演論文集』 2-6-16, pp.91-92, 2003 年)

田岡 洋平, 山下 洋一 「スペクトル包絡情報の除去とくし形フィルタを用いた音高認識」(『日本音響学会 2003 年秋季研究発表会講演論文集』 1-1-3, pp.641-642, 2003 年)

坪井 和弘, 山下 洋一 「音高の分布に基づく楽曲の調性認識」(『日本音響学会 2003 年秋季研究発表会講演論文集』 1-1-4, pp.643-644, 2003 年)

山下 洋一 「機械との音声コミュニケーションを指向した対話音声合成へ」(『平成 15 年電気関係学会関西支部連合大会講演論文集』 S11-6, 2003 年)

井上 章, 三上 貴由, 山下 洋一 「連続音声認識による言語情報と韻律情報を利用した講演音声の重要文抽出」(『第 5 回音声言語シンポジウム』 SP2003-126, pp.79-84, 2003 年)

山下 洋一, 井上 章, 三上 貴由 「重要文抽出による講演音声の自動要約」(『人文科学とコンピュータシンポジウム (じんもんこん 2003) 論文集』, pp.211-218, 2003 年)

K.Cho and Y.Yamashita, "Speech Recognition Using Inter-Phoneme Dependency", Proc. of the Eighth Western Pacific Acoustic Conference" (2003.4)

田中 覚

"Multi-dimensional integration based on stochastic sampling method," Akihiro Shibata, Satoshi Tanaka, Setsuya Kawabata, Nuclear Instruments and Methods in Physics Research Section A, 502(2-3), pp.93-595, (2003)

「複雑な陰関数曲面の確率過程的並列サンプリングとその可視化」木村彰徳, 田中覚, 仲田晋, 柴田章博, 情報処理学会研究報告「グラフィクスと CAD」2003-CG-112, pp.109-114, (2003)

「成長型モデルを用いた陰関数曲面のモデリング」, 中村智晴, 田中覚, 山本弘明, 電子情報通信学会論文誌, J86-D-II(11), pp.1700-1706, (2003)

田中 弘美

田中士郎, 西村憲吾, 田中弘美 「安定姿勢における形状対称性を用いた能動的 3 次元形状推定」, (『情報処理学会論文誌』 コンピュータビジョンとイメージメディア (CVIM) 第 7 号 Vol.44, pp38-45, June 2003)

植田直樹, 檜浜齋延, 平井慎一, 田中弘美 「ハプティックビジョンに基づく能動的レオロジー物体モデリングのための粘弾性パラメータ抽出」(『日本バーチャルリアリティ学会論文誌』 TVRSJ Vol.8pp237-246, Jul.2003)

田中士郎, 谷川武市, 安部慶喜, 田中 弘美 「ハプティックビジョンに基づく能動的物体重量推定」 (『情報処理学会論文誌』 コンピュータビジョンとイメージメディア第 8 号「ロボットビジョン」特集号, pp.51-60, Dec. 2003)

大田博義, 木村朝子, 田中弘美 「仮想空間シミュレーションによる関節物体の力学的機能推定」 (『情処研報』 2003-CVIM-138, pp.161-168, May 2003)

植田直樹, 檜浜齋延, 平井慎一, 田中弘美 「ハプティックビジョンに基づく能動的レオロジー物体モデリングのための粘弾性特徴抽出」(『情処研報』 2003-CVIM-138, pp.169-176, May 2003)

武田祐樹, 豊田伸作, 松田悠, 田中弘美 「多視点画像の反射光解析に基づく布の異方性反射モデリング」(『情処研報』 003-CVIM-140, pp.41-48, Sep. 2003)

武田祐樹, 豊田伸作, 竹村伸太郎, 坂口嘉之, 田中弘美 「少数視点画像を用いた布の異方性反射モデリング」(『平成 15 年度情報処理学会関西支部大会 講演論文集』, pp67-70, Oct. 2003)

豊田伸作, 武田祐樹, 田中弘美 「布の異方性反射モデルを用いた任意彩色布画像生成」(『平成

15 年度情報処理学会関西支部支部大会 講演論文集』 pp71-74, Oct. 2003)

Naoki Ueda, Shinichi Hirai, and Hiromi T. Tanaka, "Extracting Rheological Properties of Deformable Objects with Haptic Vision", The 13th Int. Conference on Virtual Reality and Telerobotics, Dec. 2003.

Hiromi T. Tanaka, Kiyotaka Kushihama and Kayoko Yamasaki "Vision-based Approach to Construction of Reality-Based Interactions with Virtual Environments"(Proc. on Frontier Computer Vision (FCV2003) pp.56-63, Feb.2003)

Hiromi T. Tanaka Yasufumi Takama Akinori Kimura, and Hiroki Wakabayashi "Accuracy-Based Sampling and Reconstruction with Adaptive Grids for Parallel Hierarchical Tetrahedrization"(Proc. on IEEE/Eurograph 3rd Int. Workshop. on Volume Graphics (VG2003), pp79-86, Jul.2003)

Hiromi T. Tanaka, N. Ueda, K. Kushihama and S. Hirai "Vision-based Haptic Exploration" (Proc. IEEE Int. Conf. on Robotics and Automation (ICRA2003), pp.118, Sep. 2003)

Yuki Takeda, Shinsaku Toyoda, Yu Matsuda, Hiromi T. Tanaka "Image-based Anisotropic Reflection Modeling of Textile Fabrics based on Extended KES"(Proc. on 2003 IEEE Int. Conf. on Computer Vision (ICCV2003), Demo Session, Oct.2003)

Naoki Ueda, Shinichi Hirai and Hiromi T. Tanaka "Extracting Rheological Properties of Deformable Objects with Haptic Vision"(Proc. 14th Int. Conf. on Artificial Reality and Tele-existence (ICAT2003), p p.154-159, Dec.2003)

H. Ohta, Asako Kimura, and Hiromi T. Tanaka "Analysis by Simulation Approach to Inferring Functions of Articulated Objects"(Proc. 14th Int. Conf. on Artificial Reality and Tele-existence (ICAT2003), p p284-294, Dec. 2003)

亀井 且有

Y. Hoshino and K. Kamei, "ファジィ環境評価型強化学習 (FEERL) を用いた知識の有効利用," Journal of Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics, Vol.7, No.1, pp.6-9,2003

Y. Dendo and K. Kamei, "An Agent System Using Basic Emotions as Communication Method," Journal of Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics, Vol.7, No.1, pp.40-46, 2003

Ruck Thawonmas

Ruck Thawonmas, "Fuzzy Clustered Inverse Regression," Proc. International Conference on Computational Intelligence for Modeling, Control and Automation - CIMCA'03, Vienna, Austria, pp. 539-543, Feb. 2003.

Ruck Thawonmas, Takayuki Tomoike, Tomohiko Kawachi, and Akio Sakamoto, "Exploitation of Newspaper-article Characteristics for Article Retrieval and Answer Extraction in QAC Task 2," Online Proceedings of the Third NTCIR Workshop on Research in Information Retrieval, Automatic Text Summarization and Question Answering (Sep2001-Oct2002), (<http://research.nii.ac.jp/ntcir/workshop/OnlineProceedings3/NTCIR3-QAC-ThawonmasR.pdf>), Jan. 2003.

Ruck THAWONMAS, "ゲームマイニングの野望:チャットルーム・掲示板から話題 を特定する技術," エンタテインメントコンピューティング 2003, IPSJ Symposium Series Vol. 2003, No. 1, pp. 19-23, 2003 年 1 月 13 日 ~ 15 日

Ji-Young HO, Ruck THAWONMAS, "Phoenix Puppy: A new concept for the interactive pet simulation game," エンタテインメントコンピューティング 2003, IPSJ Symposium Series Vol. 2003, No. 1, pp. 75-82, 2003 年 1 月 13 日 ~ 15 日

大久保 英嗣

瀧本 栄二, 滝沢 泰久, 毛利 公一, 大久保 英嗣「エージェント指向オペレーティングシステム

AGにおけるリフレクティブエージェントの実現手法」(『システムソフトウェアとオペレーティングシステム研究会』92-1, 情報処理学会, pp.1-6, 2003年2月)

玉田 純子, 水口 孝夫, 永宗 宏一, 瀧本 栄二, 芝 公仁, 毛利 公一, 大久保 英嗣「分散オペレーティングシステム Solelc におけるシステムコール処理の分散化方式」(『システムソフトウェアとオペレーティングシステム研究会』92-8, 情報処理学会, pp.55-60, 2003年2月)

勝部 弘嗣, 毛利 公一, 大久保 英嗣「リアルタイム環境に適用可能な Ultra DMA 転送機構の設計と実装」(『システムソフトウェアとオペレーティングシステム研究会』92-11, 情報処理学会, pp.77-84, 2003年2月)

毛利 公一, 前田 忠彦, 大久保 英嗣「次世代ワイヤレス通信を指向するオペレーティングシステムの提案」(『システムソフトウェアとオペレーティングシステム研究会』92-15, 情報処理学会, pp.107-114, 2003年2月)

荒川 智史, 勝部 弘嗣, 御田村 晃, 瀧本 栄二, 毛利 公一, 大久保 英嗣「マルチメディア処理に適したリアルタイムファイルシステム」(『第65回全国大会講演論文集』6U-5, 情報処理学会, 2003年3月)

西村 昌俊, 瀧本 栄二, 毛利 公一, 大久保 英嗣「分散オペレーティングシステム AG における通信機構の設計と実装」(『第65回全国大会講演論文集』6U-7, 情報処理学会, 2003年3月)

五條 多紀子, 瀧本 栄二, 芝 公仁, 毛利 公一, 大久保 英嗣「マルチメディアアプリケーションに適した仮想記憶管理手法」(『第65回全国大会講演論文集』5U-1, 情報処理学会, 2003年3月)

藤田 耕作, 瀧本 栄二, 毛利 公一, 大久保 英嗣「アドホック分散システムのための資源管理手法」(『第65回全国大会講演論文集』6U-6, 情報処理学会, 2003年3月)

鈴木 和久, 瀧本 栄二, 毛利 公一, 大久保 英嗣「ユビキタスコンピューティング環境における各種アプライアンスに適応したオペレーティングシステム」(『第65回全国大会講演論文集』1W-4, 情報処理学会, 2003年3月)

清水 雅純, 勝部 弘嗣, 御田村 晃, 瀧本 栄二, 毛利 公一, 大久保 英嗣「ストリーミングサーバ向き通信機構の設計と実装」(『第65回全国大会講演論文集』5U-2, 情報処理学会, 2003年3月)

滝沢 泰久, 大久保 英嗣「マルチメディア処理環境における実時間処理」(『電子情報通信学会誌』Vol.86, No.4, pp.256-263, 2003年4月)

水口 孝夫, 芝 公仁, 毛利 公一, 大久保 英嗣「分散オペレーティングシステム Solelc におけるファイル管理機構の構成と性能評価」(『コンピューティングシステム』Vol.44, No.SIG10(ACS2), 情報処理学会, pp.97-106, 2003年7月)

前田 亮

木村 文則, 前田 亮, 吉川 正俊, 植村 俊亮「Web ディレクトリを利用した言語横断情報検索における特徴語抽出」(『情報アクセスのためのテキスト処理』シンポジウム発表論文集, pp. 1-8, Feb. 2003.)

木村 文則, 前田 亮, 吉川 正俊, 植村 俊亮「Web ディレクトリの階層構造を利用した言語横断情報検索」(『第14回データ工学ワークショップ(DEWS2003)論文集』Mar. 2003.)

木村 文則, 前田 亮, 吉川 正俊, 植村 俊亮「Web ディレクトリの階層構造を利用した言語横断情報検索」(『日本データベース学会 Letters』Vol. 2, No. 1, pp. 71-74, May 2003.)

前田 亮. 京都学デジタル図書館プロジェクト「京都学コンテンツに対する情報アクセスの研究」(『21世紀 COE プログラム・シンポジウム「PC クラスタとアート・エンタテインメント研究」予稿集』, p. 97, Jun. 2003.)

Fuminori Kimura, Akira Maeda, Masatoshi Yoshikawa, and Shunsuke Uemura "Cross-Language Information Retrieval Based on Category Matching Between Language Versions of a Web Directory"(In Proceedings of the Sixth International Workshop on Information Retrieval with Asian Languages (IRAL2003)pp. 153-159, Sapporo, Japan, Jul. 2003.)

Fuminori Kimura, Akira Maeda, Masatoshi Yoshikawa, and Shunsuke Uemura "Cross-Language Information Retrieval Using Web Directories"(In Proceedings of 2003 IEEE Pacific Rim

Conference on Communications, Computers and Signal Processing (PACRIM'03), pp. 911-914, Victoria, Canada, Aug. 2003.)

木村 文則, 前田 亮, 越田 高志, 宮崎 純, 植村 俊亮「Web ディレクトリを用いた2言語オンラインの構築」(『デジタル図書館』, No. 24, pp. 3-10, Nov. 2003.) (情報処理学会研究報告, 2003-FI-73, pp.25-32にも掲載)

前田 亮, 佐古 愛己, 杉橋 隆夫「京都学デジタル図書館の構築と多言語情報アクセス」(『人文科学とコンピュータシンポジウム論文集』, pp. 195-202, Dec. 2003.)

小川 均

小川 誉央, 羽尻 公一郎, 小川 均「多様な人のしぐさに対応した身振り認識」(『電子情報通信学会 2003 年総合大会講演論文集』, A-15-5(2003))

長藤 健二, 岩崎 健一, 有馬 政幸, 小川 均「顔の見え方にロバストな個人識別に関する研究」(『電子情報通信学会 2003 年総合大会講演論文集』, A-15-8(2003)) . 2003 年, p.276

粉川 貴至, 羽尻 公一郎, 小川 均「分散重み付き制約充足を用いた受講登録コンサルタント」(『電子情報通信学会 2003 年総合大会講演論文集』, A-15-5(2003))

川越 恭二

福村純也, 川越恭二「特徴空間とメロディ空間を用いた楽曲の類似検索方法」(『情報処理学会データベースシステム研究会報告』, Vol.2003, No.5, 129-3, pp.17-24, 2003)

Hidetake, Hase and Kyoji Kawagoe「New Efficient Video Similarity Searching Method with 2-Phase Filtering」 Proc. of 2003 IEEE Pacific Rim Conference on Communications, Computers and Signal processing (PACRIM' 03) , F25-5, pp.245-248 , 2003

Masayoshi Hagiwara, Tomohiko Fujii and Kyoji Kawagoe「Open Architecture of Certificate Authorities With Mutual Certification Method」The International Conference on Computer, Communication and Control Technologies(CCCT '03), Vol11, pp.368-373 , 2003

矢野 桂司

Osamu YAMADA , Yutaka TAKASE , Ichita SHIMODA , Takeshi NAKAGAWA 「SIGNIFICANCE OF DIGITAL RECONSTRUCTION OF HISTORIC BUILDINGS USING 3D LASER SCANNER CASE STUDY : PRASAT SUOR PRAT N1 TOWER , ANGKOR , CAMBODIA」 Col. , Part 5 / W 1 2

The International Archives of the Photogrammetry , Remote Sensing and Spatial Information Sciences, Ancona , Italy (2003/07/03)

河原典史・矢野桂司・古賀慎二・高瀬 裕・河角龍典・井上 学・河原 大・岩切 賢「4次元GISを用いた京町家モニタリング・システムの構築」民俗建築 124, 2003, pp.13-22

矢野桂司・高瀬 裕・河原 大・岩切 賢・井上 学・古賀慎二・河原典史・河角龍典「京都バーチャル時・空間の構築: 四条通り界隈を中心に」人文科学とコンピューターシンポジウム論文集(情報処理学会シンポジウムシリーズ vol.2003 no.21) , pp.103-110, 2003。

河角龍典・矢野桂司・河原 大・井上 学・岩切 賢「空中写真を利用した京町家時空間データベースの構築」人文科学とコンピューターシンポジウム論文集(『情報処理学会シンポジウムシリーズ』 vol.2003 no.21) pp.111-118 , 2003

矢野桂司, 中谷友樹, 磯田 弦, 河角龍典, 高瀬 裕(立命館大)「都市3次元GIS/VRによる京都バーチャル時・空間の構築」コンピュータビジョンとイメージメディア研究会論文集

Keiji YANO, Tomoki NAKAYA, Yuzuru Isoda and Yutaka TAKASE (Ritsumeikan University) Virtual Kyoto: restoring historical urban landscapes using VR technologies

第2回NII国際シンポジウム 「デジタル・シルクロード」奈良シンポジウム, 論文集

鶴岡 真弓

鶴岡真弓『21世紀は工芸がおもしろい』求龍堂 pp.57- 92, 2003年

鶴岡真弓「ケルト・《王族戦士》の世界観 考古・美術からの解明」(『古代王権の誕生4』角

川書店 pp. 266-295, 2003年)

鶴岡真弓「ケルト考古学とEUヨーロッパ」『文化遺産の世界』pp.16-17 2003年 鶴岡真弓「アイルランド芸術と音楽」(『アイルランド音楽』pp. 1, 2003年)

鶴岡真弓「金色のかざり」(『京都国立博物館報』pp. 1, 2003年)

【著書】

川嶋 将生

川嶋将生・松本郁代共著図録『中世の密教世界～修法の覇者が夢のあと。』(2003年11月)

赤間亮

赤間亮『図説江戸の演劇書 歌舞伎篇』, 八木書店, 230p, 2003年2月

神林 恒道

神林恒道『美術史をつくった女性たち モダニズムの歩みのなかで』(編著), 勁草書房, 2003年

【学会発表】

細井 浩一

Koichi Hosoi, Kiyoshi Shin "Possibility and Prospect of Online Game in Asia", The 34th Annual Conference of International Simulation and Gaming Association (ISAGA), Kazusa Akademia Park, Chiba, Japan, August 29, 2003,

細井浩一「電子遊戯における公私問題」(第50回『公共哲学京都フォーラム』リーガロイヤルホテル京都 2003年9月28日(金) 要約は月刊『公共的良識人』2003年11月号に掲載。)

【シンポジウム・講演等】

川嶋 将生

川嶋将生「応仁・文明の乱と稲荷社」(世界人件問題研究センター『講座・人権ゆかりの地をたずねて』2003年3月)

田中 覚

田中 覚, 立命館大学21世紀COEプログラム・シンポジウム「PCクラスタとアート・エンタテインメント研究」を主催, 2003年6月6日

西村 俊和

西村俊和「木構造サーバ群による分譲型仮想都市の実現」, 第2回 情報科学技術フォーラム Forum on Information Technology (FIT2003); M-126 情報処理学会, 電子情報通信学会, 2003年9月.

鶴岡 真弓

Mayumi Tsuruoka, Ornamentalism of Koho's Textile of Nishiki The Symposium of European Association for Japanese Studies at Krakow, Poland, September, 31th, 2003 ([龍村光峯の錦織とのオーナメンタリズム]ヨーロッパ日本研究学会ポ - ランド, クラクフ市, 日本技術美術センター, 2003年8月)

「琳派の意匠をめぐって」 大学コンソーシアムシンポジウム, 2003年10月

「京都の工芸・ケルトの装飾」京都文化会議・シンポジウム, 2003年11月

【新聞等】

杉橋 隆夫

インタビュー記事; 「清和源氏」か「陽成源氏」か (『京都新聞』2003年2月26日朝刊)

神林 恒道

神林恒道「芸術学の日本近代 その歴史と展望」『Aesthetics in Japan and Aesthetics of Japan』科学研究費補助金：基盤研究（B）（1）研究成果報告書 研究代表者：神林恒道，2003年3月

神林恒道「日本近代における芸術概念の誕生と死」『美術とは何か』科学研究費補助金：基盤研究

【その他】

Ruck Thawonmas

[外国特許]

Ruck Thawonmas, Hiroki Hassaku, Keisuke Tanaka, "Mimicry: Another Approach for Interactive Comedy," Proc. of the 4th annual European GAME-ON Conference (GAME-ON 2003) on Simulation and AI in Computer Games, London, United Kingdom, pp. 47-52, November, 2003.

Ruck Thawonmas, Keisuke Tanaka, Hiroki Hassaku, "Extended Hierarchical Task Network Planning for Interactive Comedy," the Sixth Pacific Rim International Workshop on Multi-Agents (PRIMA-2003), Seoul, Korea, November, 2003, published in Lecture Notes in Artificial Intelligence, J.G. Carbonell and J. Siekmann, vol. 2891, pp. 205-213.

Ji-Young Ho, Yoshitaka Matsumoto, and Ruck Thawonmas, "MMOG Player Identification: A Step toward CRM of MMOGs," Proc. of the Sixth Pacific Rim International Workshop on Multi-Agents (PRIMA-2003), Seoul, Korea, pp. 81-92, November, 2003.

Ruck Thawonmas, Ji-Young Ho, and Yoshitaka Matsumoto, "Identification of Player Types in Massively Multiplayer Online Games," Proc. the 34th Annual conference of International Simulation And Gaming Association (ISAGA2003), Chiba, Japan, pp. 893-900, August 25-29, 2003.

Ji-Young HO, Ruck THAWONMAS, "Phoenix Puppy: A new concept for the interactive pet simulation game," エンタテインメントコンピューティング2003, IPSJ Symposium Series Vol. 2003, No. 1, pp. 75-82, 2003年1月13日～15日.